



障がい者の社会参加を広げる

# おおぞら通信

認定 NPO 法人おおぞら

131号 2022年5月20日 発行

「おおぞら」は、グループホームの運営・就労支援の活動を軸に、主に知的障がい・発達障がいのある方々の地域生活を支援する活動を行っています。

“障がいのある方が、地域の人々とともにふつうに暮らすこと”、それが私たちの願いです。



地域で生きる  地域が活きる



たくさんの学びがありました

1999年の開設から、たくさんの障害を持った方が、作業訓練や実際の業務に関わってきた、うしくあみ斎場内“売店喫茶あさぎ”が2022年3月をもって営業を終了しました。昨今の新型コロナウイルス感染症対策により業務が縮小しそれに伴い障害者の働く場としての意義が希薄になっていきました。今、障害者の働く環境も大きく変化してきており、あさぎはひとつの役割を終えたと考えての営業終了となりました。

障害者の法定雇用率引き上げとともに障害者の働く場は年々増え、私たちが関わることの多い知的障害を持った方も大企業の子会社で活躍しています。とはいえ、きりの木のような福祉事業所に通所している方はまだまだいるわけで、その人たちが少しでも望む生き方を叶えられるように、さらに支援力をつけていきたいと、あさぎが終了した今だからこそ思うのです。(小澤)

ちいきでいきる  
**地域で生きる**

賛助会員・ご寄附にご協力をお願いします

活動にご賛同いただける方のご入会・ご継続お願いいたします。

## たくさんのご寄付をありがとうございました



昨年度もご支援いただいています皆さまから、たくさんのご寄附をいただきました。本当にありがとうございました。

例年、いただいたご寄付は、その年度の物品購入等に使わせていただいていたが、現在、賃貸で運営している既存建物の老朽化の問題、入居者の方の体力や認知力の低下などの課題があり、新規グループホームの開設が必須となっています。そこで前年度いただきましたご寄附は繰越し、グループホーム新設の際の備品購入等に活用させていただきたいと思っております。

■ 2021 年度 寄付額  
(賛助会費含む)  
1,595,190 円  
(106 件)



### グループホーム新設企画(案)

### ～安心して住み続けられる「家」として～

“高齢になっても住み続けられる、小規模なグループホームをつくりたい”と、事業計画案を作成しました。残念ながら予定していた土地が利用できなくなってしまいましたが、心機一転、土地を探していこうと思っております。

## グループホーム事業の概要

- 内容：「オリーブ」(男性3名)の移転
- 構造：バリアフリーの木造平屋建て  
(5LDK×2ユニット)
- 定員：1ユニット4名(男性4名・女性4名)
- 構造：バリアフリー 平屋建て
- その他：災害時の法人避難拠点となる機能
- 目標：2023年度の開設を目指す

おおぞらは、障害者の社会参加を広げることが目的に設立された法人です。「障害の程度に関わらず、地域での生活が当たり前の選択肢としてある」。それが私たちの目指す“普通の暮らし”のあり方です。高齢になっても、障害が重度になっても、住み慣れた地域の中での交流を持ちながら、安心して暮らし続けることができる場が必要だと考えています。

私たちは、入居者ひとりひとりの個性を尊重し、しっかりと関わるができるよう、少人数での暮らしを大切にしたいグループホームを新設したいと思っております。

## コラム

### ～障がいのある人たちの暮らしを支える～

新年度を迎えると、NPO法人として「活動報告書」を作成する時期になります。慌ただしく過ぎた昨年度の活動を振り返りましたので、簡単にご報告します。

◎「ふれあい訪問収集が使えない」⇒「使えます！」に

昨年度のおおぞら通信の中で、ひとり暮らしを始めた身体障害者の方が、ゴミ出しが困難な方を対象とした「ふれあい訪問収集」が利用できずに困ったことを報告しました。この報告を読んだある市議会議員さんから「高齢者の方でも同じようにゴミ出しができずに困っている方がいる。議会で質問したいので障害者の方のことを教えてください」とご連絡をいただきました。それをきっかけに市役所も動き出し、制度の利用基準が明確になり、私が担当する障がい者の方も、今は安全にゴミ出しができる生活を送っています。

◎障害福祉サービスの社会資源マップ誕生！

市内にはどんな障害福祉サービスがあるのかしら？と気になる関係者の方も多はず。昨年度は牛久市内の相談員が集まり、障害福祉サービスの細かな情報をまとめた「社会資源マップ」の雛形づくりを進めました。福祉資源が見

える化されたことで、サービスの情報アクセスが一步前進したのではないのでしょうか？

◎開示請求のサポート

区分認定調査の内容を知るために、ご家族のサポートとして情報開示請求手続きを行い、福祉課への意見書を提出しました。市の条例や認定調査マニュアルを読み込みながら進めた作業には学びが多く、またその過程でご家族の切実な思いをじっくりと聞く良い機会ともなりました。

こうした動きは、事業所の枠を超え、つながりのある方たちと一緒に取り組んだものです。目の前のひとりのために動いた何かは、たとえ結果はうまくいかなかったとしても、周りのひとたちをつなげ、支援が必要な人に居場所を作る取り組みにつながっていくのではないかと思います。

あらためて、既存の仕組みの中に障がい者の生活をはじめ込むことで支援を終わらせてはいけないなど、自戒を込めての振り返りとなりました(な)





# 就労支援事業所 きりの木

# 活動報告



コロナの影響も少しずつ収まってきた時期を見計らい、お花見を行いました。皆さんいつも真面目に作業を頑張ってくれているので、平日の午後から桜が見える公園にお花見に行きました！！最近あまりお出かけができていなかったの少しはリフレッシュできたかな？作業中は話をする時間もないので、イベントの時間って結構大切なんですよね♡



イオンの『幸せの黄色いレシート』という活動をご存じでしょうか？毎月11日のイオンデーにお買い物のレシートを専用BOXに投函すると、年間に集まったレシートの1%と同額の寄付をいただけるというものです。先日は店頭活動に参加しました。利用者さんが社会参加できる場を企業の方も真剣に考えてくださって、とてもうれしく思いました。イオンさん・レシートを投函してくださった皆さん、ありがとうございました！！次回は11月11日の16時から1時間参加させてもらう予定です。



無農薬・無肥料  
の希少品！

そろそろ作業の話もしないと、遊んでばかりか！！と怒られてしまいますね。きりの木では委託事業で竹林整備の作業を行っています。洲崎財団様から助成していただいた粉碎機も活躍中。2台体制でバリバリ粉碎しております。とてもはかどります。利用者さんの作業も倍増です。



## 玉ねぎ販売します！

畑では今年も玉ねぎがまもなく収穫時期を迎えます。今年はとても玉ねぎが高いたのでたくさん売れたらいいなあ。農薬と肥料を使わない自然栽培のお野菜、まさに自らの生きる力で育ち、小さいけれど雑味の少ない野菜になります。みんなが頑張って除草してくれたので無事に収穫にたどりつけそうです。



収穫量がとても少ないので希少ですよ。。直販もできますので、お早めにお問い合わせください。

(029-875-8841 細田)

## グループホーム

昨年度のグループホームは、事業所内外で発生したコロナ感染症の対応に追われた1年間でした。

入居者の方は、ホーム内や通所・勤務先でのコロナ発生によって度々隔離となったり、日中活動の急なお休みとなったり、楽しみにしていたイベントが中止となったりと、つらい状況が続きました。

“こだわりが強い、予定変更は苦手”等々、障害特性による臨機応変な対応の難しさの話はよく耳にしますが、それってほんとかな？と思うほど、急な予定変更が続いた中でも、皆さん動ずることなく、臨機応変に対応してくれていました。それもこれも、日頃から情熱と勢いで動いてしまうスタッフ



の行動に、利用者さんたちが臨機応変に対応してくれていたことの表れなのかもしれません(-\_-;)...。あらためて入居者の皆さんの懐の深さに感謝です！

## あさぎ

障がい者の就労の場所として、23年間続いた「売店喫茶室あさぎ」が3月31日をもって閉店致しました。

19年間あさぎの勤務をしてくれた松原さんをはじめ、子育てをしながら続けてくれた斎藤さん、苦手なことにもチャレンジしてくれた野口さんの3名が退職されました。皆さん本当にお疲れ様でした。ありがとうございました！





# 認定 NPO 法人取得いたしました！税制優遇が受けられます

## 税制上の優遇処置について

「おおぞら」にご寄付いただいた場合、寄付金控除等の優遇処置を受けることができます（寄付金の受領書が必要です）。賛助会員費および寄付としてご入金いただいたものが優遇税制の対象となります。

## 今後の寄付金の用途

- ◆重度障害者対応グループホームの新設を企画中です（バリアフリー、平屋構造、スプリンクラー設備・・・）
- ◆就労支援事業拠点移設を企画中（野菜加工場、菓子類製造場を併設）



## ①オンライン上で寄付ができるようになりました

クレジットカードでの決済と銀行口座へのご入金案内が利用できます。寄付の際に必要な情報が入力できますので、事務処理の軽減につながります。オンラインでのご寄付にご協力ください。下の URL か右の QR コードを読み込んで、専用寄付サイトからお願いします。  
<https://congrant.com/project/ohzora/2595>



## ②ゆうちょ銀行の払込取扱票でのご寄付

おおぞらで用意しておりますゆうちょ銀行の払込取扱票をご利用いただくと、記入箇所が少なく便利です（払込手数料はおおぞら負担です）。事務局へご連絡いただければお送りいたします。（郵貯 ATM での小銭取り扱いおよび現金での振り込みに手数料がかかるようになります。カード・通帳でお振込みください）

## スタッフ募集中！

### グループホームぎんが 早朝スタッフ

- ・パートタイム（世話人）
- ・週1回（朝6時45分～8時30分）
- ・時給950円～

アパートタイプのグループホームのお仕事です。利用者さんのお話を聞いたり、食事づくりや掃除など身の回りの支援を行います。家事スキルが活かせる仕事です（身体介助はありません）

## おおぞら掲示板

## 使用済みのロウソク ご提供ください

就労支援事業所きりの木では、障害者の方々の仕事づくりとして竹を使った着火材“竹火”を製造しています。竹火は放置竹林から出た竹と使用済みのロウソクを原料にした環境負荷を軽減した製品です

現在、原料のロウソクが不足しております。不要となったロウソクの提供にご協力いただけますと嬉しいです。ロウソクは、小さくても、色付きでも大丈夫！



←ろうそくご提供用フォーム

竹循環プロジェクト→

## 2022年度会員募集！

当法人の活動にご賛同いただける方のご入会をお待ちしております。

期間：2022年4月～2023年3月

- ◎正会員：3,000円 ◎賛助会員：3,000円
- ◎団体正会員：10,000円 ◎団体賛助会員：10,000円

※同封した振込用紙をご利用ください。

◎活動へのご寄附へもご協力をお願いいたします



SNS発信をしています



※それぞれ以下の検索ワードで覗いてみてください

Twitter → NPO法人おおぞら/ハピリィマルシェ/ @npoohzora

Facebook → 特定非営利活動法人おおぞら

Instagram → npoohzora / 特定非営利活動法人おおぞら

日々のできごとをゆる～く更新中！よろしければフォローをお願いします

特定非営利活動法人おおぞら 理事長 小澤 純也 編集 おおぞら事務局

住所：〒300-1287 茨城県牛久市田宮3丁目1-18 電話：029-873-8883 ファクシミリ：029-886-5161

ホームページ：https://npoohzora.org E-mail: mail@npoohzora.org

